



消防だより 119

秋の火災予防運動

を実施

10月15日から31日までの17日間にわたり、全道一斉に秋の火災予防運動が実施されます。この運動は寒くなる季節を迎え、暖房器具を使用する機会が増えることにより発生する火災を防ぐことが目的です。

火災による死者を出さないために、今一度、家族全員で火気の取扱いの話し合いや暖房器具等のチェックを行いましょう。

また、飲食店や販売店、宿泊を伴う施設等の防火管理者は、従業員すべてに消防用設備等の取扱い方法や避難方法について周知徹底を図るなど、万が一の場合に備えましょう。

消防署では期間中、車両広報や消防サイレンの吹鳴など、安全で安心な街づくりを目指し、各種行事を予定していま

すのでご協力をお願いします。

ストーブなどの安全な取扱い

これからの季節は、秋から寒さが一段と厳しくなる冬にかけて、ストーブなどの暖房機器を使用する機会が多くなり、暖房機器からの火災の発生が心配される時期でもあります。

火災を発生させないように、次の点に注意しましょう。

- 使用にあたっての注意事項
- ①ストーブなどの近くに、紙や衣類など燃えやすいものを置かない。
- ②ストーブの近くでヘアスプレー等の引火の危険性があるものを使用しない。
- ③カーテンなどがストーブと接触しないように、距離を離して使用する。
- ④ストーブ



- の真上に洗濯物を干さない。
- 使用方法などの注意事項
- ①ストーブに灯油を給油するときは、火を消してから行う。
- ②カートリッジタンク式のもの、給油後、タンクのふたを確実に閉める。
- ③煙突は金属の支線（針金等）を使用して固定する。
- ④就寝時や外出時には、必ず完全に消火していることを確認する。
- ④使用する前には、十分な点検・整備を行い、故障している場合は専門の業者へ修理を依頼する。

とうや少年消防クラブ 優良消防関係団体表彰

8月28日に日高町で開催された第67回北海道消防大会で、とうや小学校の全校児童67人でつくる、とうや小学校少年消防クラブが、北海道消防協会の優良消防関係団体表彰を受賞しました。

同クラブは平成6年の設立以来、火災や地震を想定した訓練や消火器を使用した消火訓練、起震車による地震体験など様々な訓練を通じて防火



優良消防関係団体表彰を受賞したとうや小学校少年消防クラブ

置や消火器点検内容各種届出・申請様式（ホームページからダウンロードできます）などが掲載されています。

今後、利用者の利便性を考慮しながら内容を充実していきますので、是非、ご活用ください。

西胆振消防組合ホームページアドレス
<http://nfd119.sakura.ne.jp/index.html>

統一標語

『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』

洞爺湖町災害件数

平成27年1月1日～8月31日現在

fire

●火災件数	2件
●救急件数	332件

西胆振消防組合ではホームページを開設しています。

各種試験案内・講習会のお知らせ、住宅用火災報知器設